

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------|---|---|---|
| I. 理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念と共有 | | | |
| 1 | <input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | グループホーム独自の理念 ①ゆっくり楽しくよりそって暮らせる家を目指します。 ②自分でやれる喜びと達成感のある暮らしを目指します。 ③ご利用者様、ご家族様、地域の人々、私達スタッフの幸せを目指します。 | |
| 2 | <input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | リビングに額に入れて掲げ、全てのスタッフが共有し実践に向けて取り組んでいる。 | |
| 3 | <input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | 理念はリビングに掲げ、どなたでも閲覧できるようにしている。 | <input type="radio"/> 広報誌に掲載する。 地域の人との会話で機会があれば話すようにしています。 |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| 4 | <input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 町内会の活動に参加。 出退社時に挨拶、散歩・ドライブなどで立ち話等をして交流。 畑で獲れた野菜などを持ってきて下さったりしている。 | <input type="radio"/> 全てのスタッフが積極的に近所の方の名前を知り、親しみを持って接するようになりたい。 |
| 5 | <input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 町内会の活動(溝掃除・草刈り・お祭りなど)に参加して交流に努めている。 園児や生徒さんの訪問を受け入れ交流している。 豊和園さんの夏祭りに招待を受け参加。 | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|--|--|------|---|
| 6 | <p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p> | <p>事業所は常に開放しており、介護相談にはいつでも対応している。</p> <p>認知症の理解や関わり方については、広報誌に掲載している。</p> | ○ | 身近な介護相談窓口になればと思います。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | |
| 7 | <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p> | <p>毎年グループホームに関わるスタッフと共に取り組み・意見を出し合い、改善すべき点については改善に向けて努力している。</p> | | |
| 8 | <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>2ヶ月に1回開催して、グループホームでのご様子・行事などを報告している。</p> <p>会議で出たご意見を活かすよう日々努力している。</p> <p>今年から京北出張所福祉担当課長様にオブザーバーとして出席していただいている。</p> | ○ | 福祉担当課長様が出席されることにより、グループホームの活動内容がより良く分かっていただけたと思います。 |
| 9 | <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | <p>社会福祉協議会からの紹介で、中橋玲子様コンサート形式による音楽療法を行っていただきました。</p> | | |
| 10 | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> | <p>本年度、ご利用者様のご家族様が当事業所併設のクリニックにて成年後見人制度を受けるための手続きをされました。</p> <p>成年後見人制度については、スタッフ全員が内容や手続きなどを理解しておくことは大切だと思いますが、グループホームとしては、独り身の方の敏感な部分なので介入はしていません。</p> | | |
| 11 | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | <p>虐待に関する研修に参加して、勉強会などで学ぶ機会を持っている。</p> | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|---|--|--|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>契約を結んだり解約する際には、事務長や管理者よりご利用者様やご家族様が納得されるまで十分な説明をさせていただき、時には退去にあたりご本人様のグループホームでの様子などが必要な際には情報を提供させていただいています。</p> | |
| 13 | <p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>ご利用者様の苦情はその場でスタッフが聞いている。ご利用者様一人ひとりにあわせて対応している。京都市からの介護相談員の受け入れを行っている。</p> | ○ 介護相談員様のお話を聞いている。 |
| 14 | <p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>ターミナルの方は「心からのメッセージ」ノートでご家族様とのつながりを持っている。ご利用者様の状態や変化については、面会に来られた時や電話にて随時報告している。行事報告の広報をお渡し・送っている。</p> | |
| 15 | <p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>ご家族様が来られた際、常にお話をさせていただいている。苦情などの話が出れば苦情ノートに書き込み、スタッフが閲覧し検討する。介護相談員様の意見をお聞きしたりする。</p> | ○ 意見・不満・苦情はご家族様・ご利用者様・職員全員が均等に納得できるように見出す。 |
| 16 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>全体会議を1回、グループホームカンファレンスを1回、毎月行っている。常にスタッフの意見を聞くようにしている。</p> | ○ 解決まで導ける場にする。 |
| 17 | <p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | <p>病院受診・行事・レクリエーションなど、事前に計画されることがあれば、勤務作成時に調整を行っている。</p> | |
| 18 | <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>日常的に情報交換を行い、ご利用者様の混乱などを防ぐために、異動や退職を最小限に抑える努力をしている。</p> | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) | |
|----------------------------------|--|---|----------------------------------|--|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | |
| 19 | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>資格取得援助・法人内外の研修参加・事業所の全体会議での伝達講習を行っている。</p> | ○ | <p>法人での取り組みは、遠方なこともあり参加がなかなか難しいが、極力参加して知識・意識の向上につなげたい。</p> |
| 20 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>法人内でのグループホーム交流見学会、グループホーム協議会の研修参加での交流、近隣の老人施設「豊和園」様の夏祭りへの参加で、取り組みなどの勉強をさせていただいている。</p> | | |
| 21 | <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p> | <p>運営者自らが来られ、スタッフに話しかけられている。法人内の職員旅行・春の宴・ビアガーデン・ボーリング大会・忘年会などに参加が出来る。</p> | ○ | <p>当事業所独自で忘年会などを開催している。</p> |
| 22 | <p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p> | <p>運営者自らが来られ、仕事に関する相談や指導をされている。ス タッフ誰とでも話をして意見を聞いていただける事で、心の支えとなる。</p> | | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | |
| 23 | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> | <p>面接に来ていただいた際にはじっくりご本人様とお話できる機会を設け、傾聴・受容する努力をしている。他のご利用者様とも過ごしていただき、スタッフも様子を見させていただいている。</p> | | |
| 24 | <p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> | <p>面接や電話などでご家族様が考えておられること・求められていることなどを傾聴・受容し、最大限に聞き出す努力をし、不安解消に努めている。入居前の家庭訪問は現在行っていない。</p> | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|--|------|--|
| 25 | ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 相談を受けた時から行う努力はしている。 グループホームではなく、他のサービス利用でご本人様・ご家族様が安心されることがあれば検討していく場合もある。 | | |
| 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 面接時に、ご本人様・ご家族様に他のご利用者様やスタッフと過ごしていただく時間を必ず設けて、グループホームの様子を感じ取っていただいているが、今回ご本人様をどうしても面接に連れ出す事が出来ず、担当ケアマネージャー様との相談を密にして、お出掛け続きで入居された例もできた。 | ○ | ご家族様からの情報がとても大事なので、最初に多くの情報を得る事でご本人様との話もスムーズにできて落ち着かされる。 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | |
| 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 習字をしていただいたり、お花を活けていただいて飾ったり、歌を歌っていただいたりしている。 | ○ | 喜怒哀楽が欠けることなく過ごしていける場にしていく。 |
| 28 | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | ご家族様に一緒にホームで過ごしていただいたり、家族交流会などにも参加していただいて、スタッフとの交流も持っていただいている。 | | |
| 29 | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | ご本人様の経歴を理解し、ご家族様とどのような関係であったかを知り、背景を理解して、現在の生活を不安なく過ごしていただけるよう努力している。 | ○ | 面会の回数や時間をできるだけ多くとっていただくようにしている。 |
| 30 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている | ご家族様との外泊・外出の支援。 ご友人や知り合いの方、地域が一緒だったという方々とのお話など、気軽に訪ねてきていただけるようお願いをしている。 | | |
| 31 | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | お茶汲み・洗濯干し・洗濯物のたたみなどを通して、助け合い関わっていただいている。上手くコミュニケーションがとれない時はスタッフが間に入ってお話をしたり、席を変えたりして対応に努めている。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|---|---|------|----------------------------------|
| 32 | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 入院で退去される方が多く、京北病院へ入院された場合はご様子を伺いに行くが、遠方の場合はなかなかお伺いできなく、ご家族様からの電話連絡に頼っている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | |
| 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | センター方式シートに基づいてご本人様にお尋ねしたり、ご家族様にお尋ねしたりしている。 | | |
| 34 | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | センター方式シートに基づいてご本人様にお尋ねしたり、ご家族様にお尋ねして、ご本人様のこれまでの暮らしの把握に努めている。 | | |
| 35 | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | ご利用者様とコミュニケーションを図り、一人ひとりのペース・ADLなどの把握に努めている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | |
| 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 毎月1回ケースカンファレンスを行い、ご本人様・ご家族様の意見や思いを大切に、スタッフからの意見も反映し、介護計画作成に役立てている。 | | |
| 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 基本的には3ヶ月に1回の介護計画の見直しを行っているが、カンファレンスで討議し、必要時には介護計画の見直しを行っている。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|--|--|------|----------------------------------|
| 38 | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の観察記録・熱計表など記入してスタッフが気づいたことを検討し、計画の見直しに活かしている。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | ご家族様の状況などに応じて、受診等が必要な時はスタッフが行うようにするなど、柔軟に対応している。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 40 | ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 運営推進会議に民生委員様、中学生の職場体験、消防避難訓練に消防署の職員様、踊りや演奏に地域のボランティアの方々などが協力して下さっている。 | | |
| 41 | ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | ホームに入居される以前、在宅で関わっておられたケアマネジャー様とご利用者様・ご家族様のことについて相談にのっていただくような関わり合いを持っている。 | | |
| 42 | ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 運営推進会議に出席していただき、様々な意見をいただいている。 | | |
| 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 京都市立京北病院が連携医療機関となっている。歯科は近所の安井歯科を利用している。一部のご利用者様が医師に往診していただいている。 | | |

ケアサポートセンターけいほく

| | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--|--|------|--------------------------------------|
| 44 | <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p> | <p>併設している精神科・心療内科「けいほくこころのクリニック」に一部のご利用者様だけが受診していただいている。グループホームのご利用者様の認知症に関する相談もしている。</p> | | |
| 45 | <p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p> | <p>スタッフで看護師が非常勤で勤務しており、常にご利用者様の健康管理や状態の変化に応じた支援を行う努力をしている。 1回の訪問看護で健康チェックを受けている。</p> | ○ | <p>緊急時は電話で24時間対応・相談できるようになっています。</p> |
| 46 | <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p> | <p>入院では、環境変化などで精神的な負担も大きく、認知症の悪化やADLの低下につながる恐れもあるため、出来るだけ早く退院してホームに帰ってきていただけるように、主治医・ご家族様との相談を行っている。</p> | | |
| 47 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> | <p>終末期の方針は話し合われているが、初めてのケースのために模索中。</p> | | |
| 48 | <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> | <p>ご本人様のお気持ちを大切にしつつ苦痛がないように、ご家族様の苦悩が軽減するように努めるよう、スタッフ全員で取り組んでいる。</p> | | |
| 49 | <p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p> | <p>情報交換や情報提供表を作成し、新しい所でもご利用者様が安心して変わることなく暮らしていけるように支援している。</p> | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) | |
|----------------------------------|--|--|----------------------------------|--|
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | |
| 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | スタッフは謙虚な姿勢でご利用者様のプライドを傷つけないよう注意を払っている。 記録などにもプライバシーに関係することは注意をしている。 | ○ | 気になる言葉かけがあった場合はスタッフ間でもっと注意し合えるようにしたい。 |
| 51 | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | ご利用者様一人ひとりのペースを尊重している。 音楽を聴く方、昼寝をされる方、居室で過ごされる方、TVを観られる方、その方らしい暮らしができるよう支援している。 | | |
| 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 1日の基本的な流れはあるが、ご本人様の気持ちによって無理強いすることなく過ごしていただいている。 | | |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | |
| 53 | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | ご本人様の望む店とは言えないが、近所の美容院へ行き、身だしなみを整え、マニキュアも塗っておしゃれをされている。 男 性も理容室へ行き、髭は入浴時に剃っている。 | ○ | 行事の時には、おしゃれな服をご本人様に選んで着ていただきたいと思っています。 |
| 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 簡単な準備作業や洗い物を一緒にしている。 手作りのおやつの時、一緒にデコレーションしたり、畑で作った野菜を収穫し食事に使用している。 テーブルを拭いていただくなどしている。 | | |
| 55 | ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | 買い物時に好きなおやつを選んでいただいたり、お茶がダメな方には代わりとなる物を飲んでいただいたりしている。 | | |

ケアサポートセンターけいほく

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|--|---|------|----------------------------------|
| 56 | ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | トイレでの排泄を心がけて支援を行っている。 排泄の訴え・サインがあれば誘導を行い、排泄チェック表に記録して、記録をもとに排泄パターンの把握に努め、排泄の失敗をなくす努力をしている。 | | |
| 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | ご利用者様の無理のないペースで入浴していただいている。 入浴剤を入れてゆったり楽しんで入浴していただいている。 | | |
| 58 | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | 自由に就寝・起床していただいている。 入眠時間などを記録し、ご利用者様の生活サイクルの把握に努めている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 食事前の手伝い、お花を活けたり、洗濯物を干したりたたんだりお願いするとしていただける。 音楽鑑賞・新聞読み・ドライブ・散歩・カラオケなどを楽しんでいただいている。 | | |
| 60 | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 現在はお金の所持やお金を使うことへの支援は行っていない。 | | |
| 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 買い物・散歩・日光浴などしていただけるよう支援している。 | ○ | 靴を履かなくても日光浴ができるよう、テラスを計画中。 |
| 62 | ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 個人的にはご家族様が一緒にドライブや温泉に行かれることがある。 全体では春と秋頃にドライブに出かけるようにしている。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|---|--|------|----------------------------------|
| 63 | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ご利用者様から希望があれば電話をかけてとりついでいる。年賀状などスタッフと一緒に書き、ご家族様に出している。 | | |
| 64 | ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | いつでもご都合の良い時間に訪ねてきていただけるように支援している。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 車イス利用時に拘束していた方がおられたが、ターミナルケアに入り車イスがリクライニング式になったので、拘束なしになった。 | | |
| 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 日中は玄関の鍵はかけずに様子を見ている。帰宅要求などで外へ出かけられた時は見守りを行っている。 | | |
| 67 | ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | ご利用者様の動きに対し敏感に反応し、スタッフ同士気を配り、さりげない介護に努めている。外に出られた時はスタッフが付き添い、トラブルや事故にならないようにしている。 | | |
| 68 | ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | 薬・ハサミ・裁縫箱は事務所で保管。調理用包丁はキッチンの引出しに保管している。異食されそうな物を近くに置かないようにしている。 | | |
| 69 | ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | 薬はスタッフが管理・確認し服薬。窒息については、食事時の形態や見守りに気を使っている。ご利用者様の所在の確認と見守りで注意を払っている。インシデントレポートにて原因追求・対策を話し合っている。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|--|--|------|----------------------------------|
| 70 | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 急変時のマニュアルがあり、マニュアルに沿った行動をとっている。 | ○ | 定期的な実習ができていないので研修をする。 |
| 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 消防署職員の協力を得て、避難訓練を行っている。 地元消防団の方との火元点検の時にお話をしている。 | | |
| 72 | ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | 電話をしたり、来ていただいた時に様子を見ていただき、説明したりして話し合いに努めている。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | |
| 73 | ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 毎朝バイタルチェックを行い、ご利用者様の体調の変化に気づけるようにしている。 日夜問わずいつもと違うと感じれば、看護師に連絡・相談している。 | | |
| 74 | ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 服薬リストがあり、薬情報をもとに薬の内容を理解できるようにしている。 ご利用者様の状態の変化は日々記録し、受診の際に報告を行うようにしている。 | | |
| 75 | ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 毎日体操をしていただき、体を動かしていただいたり、水分補給・食事の面で食物繊維を摂っていただいている。 | | |
| 76 | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 毎食後声かけを行い、ご利用者様にさせていただいている。 出来ない方はスタッフが介助している。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|---|---|------|----------------------------------|
| 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 毎食食事量や水分摂取量を記録している。 管理栄養士より指導を受けている。 野菜を多く取り入れる様にし、肉類・魚類が続かないようにメニューを考えている。それぞれが食べやすいように配慮している。 | | |
| 78 | ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | インフルエンザに関して予防接種を行っている。 手洗い・うがいの実施。 ノロウイルスなどに対しては、5Lに対して20cc割合でのキッチンハイターを薄めて床・手すり・ソファを拭いている。 テーブルの下とイスに関しては毎食後に拭いている。 | | |
| 79 | ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 調理器具はハイターで消毒。布巾は煮沸と日光消毒して衛生管理をしている。 新鮮な食材を準備し、食材の賞味期限などの確認は頻繁に行っている。 冷蔵庫掃除も週1回行っている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 玄関は広く、車イスも通れるスペースとなっており、段差も少なく歩行不安定なご利用者様にも安全で過ごしていただきやすい作りとなっている。 玄関横に台所の扉があり、炊事をしながら声掛けが出来る。 | | |
| 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 花(ご利用者様に活けていただいたもの)を飾っている。 絵やポスターを貼っている。 リビングにはいつも全員が集まっておられる。 TVばかりでなく音楽も色々とかかっている。 | | |
| 82 | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | リビング内にはソファやイスが様々な所にあり、ご利用者様が思い思いに過ごされている。 窓側に座られたり、ソファにおられたり、イスにおられたりしている。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|---|---|------|--|
| 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ご本人様を使い慣れた家具や日用品を持ち込んでいただいている。 ドアに好みののれんをかけられたりしていただいている。 | | |
| 84 | ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の上よみがないう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | 換気はこまめに行い、新鮮な空気を室内に取り入れている。 冷・暖房、加湿・除湿、不快指数計算表などで管理している。 床暖房も完備している。 | ○ | エコや外気との温度差を考え、夏は少し高めの温度設定にしている。 居室内の温度は、ご利用者様の好みにも配慮している。 |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |
| 85 | ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | リビング・トイレなど手すりが付いている。 イスを所々に置いている。 | | |
| 86 | ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | 居室前に表札を掲げている。 トイレが分からない方のために「便所」という張り紙をし、手洗い場所の張り紙もしている。 台所はカウンターになっており開放感があり、料理などの匂いを直接伝えられる。声かけなどもできる。 | | |
| 87 | ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | 玄関先にはガーデンテーブルとウッドデッキがあり、外気浴を楽しんでいただいたり、お茶を飲んだり、気分転換できる場となっている。 洗濯物を干していただいたりしている。 畑でトマト栽培をしていただいた。秋にはさつまいも堀りの予定 | | テラスを来春設置予定。 |

| V. サービスの成果に関する項目 | | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 | |
|------------------|--|-----------------------|--------------|
| 項 目 | | | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ○ | ①ほぼ全ての利用者の |
| | | | ②利用者の2/3くらいの |
| | | | ③利用者の1/3くらいの |
| | | | ④ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある |
| | | | ②数日に1回程度ある |
| | | | ③たまにある |
| | | | ④ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | ○ | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と |
| | | | ②家族の2/3くらいと |
| | | | ③家族の1/3くらいと |
| | | | ④ほとんどできていない |

ケアサポートセンターけいほく

| 項 目 | | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 | |
|-----|---|-----------------------|--------------|
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | <input type="radio"/> | ①ほぼ毎日のように |
| | | <input type="radio"/> | ②数日に1回程度 |
| | | <input type="radio"/> | ③たまに |
| | | <input type="radio"/> | ④ほとんどない |
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | <input type="radio"/> | ①大いに増えている |
| | | <input type="radio"/> | ②少しずつ増えている |
| | | <input type="radio"/> | ③あまり増えていない |
| | | <input type="radio"/> | ④全くいない |
| 98 | 職員は、生き生きと働いている | <input type="radio"/> | ①ほぼ全ての職員が |
| | | <input type="radio"/> | ②職員の2/3くらいが |
| | | <input type="radio"/> | ③職員の1/3くらいが |
| | | <input type="radio"/> | ④ほとんどいない |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | <input type="radio"/> | ②利用者の2/3くらいが |
| | | <input type="radio"/> | ③利用者の1/3くらいが |
| | | <input type="radio"/> | ④ほとんどいない |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> | ①ほぼ全ての家族等が |
| | | <input type="radio"/> | ②家族等の2/3くらいが |
| | | <input type="radio"/> | ③家族等の1/3くらいが |
| | | <input type="radio"/> | ④ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・町のボランティアグループの方々の支援に大変助けられ、交流して、ご利用者様に楽しんでいただいています。
- ・行事（お誕生日会・七夕・敬老会・クリスマスなど）の時にはスタッフが自作のショーに取り組み、楽しんでいただいています。
- ・ここで最期まで過ごしたいというご家族様との話し合いの結果、開所以来初めてのこととなるターミナルケア・看取り介護に取り組んでいます。